

平成29年度 事業報告書

I. 国際体験創造事業

次代を担う青少年や市民各層に対し、外国人との直接的な交流による異文化体験の機会を提供し、国際性豊かな人材を育成するとともに、本協会の他事業への参画も図ることで、松山の国際化に向けた人材の活用に努めた。

1. 第35回 まつやま中学生海外派遣

中学生を姉妹・友好都市へ派遣し、現地での交流や異文化体験を通じて、未来を担う青少年の国際感覚を養い、国際性豊かな人材の育成に努めた。

(1) 応募・選考

1年間の国際交流事業への参加実績に応じてポイントを付与し、翌年度の派遣事業への応募資格とする「中学生チャレンジプロジェクト」を実施。派遣前に松山で活動できる国際交流事業に参加し、その意義を学び、楽しさを体感することで、派遣後も引き続き地域の国際交流に貢献できる人材の育成を目指した。

4ポイント以上の参加により、応募資格を獲得した生徒は119人。面接審査により、3年生24人・2年生16人・合計40人(21校)を選考した。

(2) 事前研修及び結団式・壮行会

事前研修：4回開催

結団式・壮行会：7月9日 13:00～14:15

(3) 派遣

①アメリカ班

期 間：7月26日～8月4日 10日間

訪 問 先：サクラメント、ロサンゼルスほか

派 遣 団：中学生 20人(男子6人、女子14人)

団 長 久 米 倫 典(三津浜中学校 校長)

引率教師 土 居 由里果(湯 山中学校 教諭)

〃 成 谷 周 治(済美平成中等教育学校 教諭)

協会職員 田 中 早 苗

活動内容：【サクラメント】

- ・州議事堂、市庁舎、サター砦等の見学
- ・旧市街、鉄道博物館見学
- ・コロマ地区での発掘体験
- ・現地姉妹都市協会との交流会
- ・ホームステイ ほか

【ロサンゼルスほか】

- ・カリフォルニア州立大学サンマルコス校キャンパス訪問・サンディエゴミッドウェイ航空母艦博物館見学をとおして地元高校生と交流
- ・カリフォルニアサイエンスセンター、全米日系人博物館見学
ほか

②ドイツ班

期 間：7月22日～7月31日 10日間

訪 問 先：フライブルク、ジュネーブほか

派 遣 団：中学生 20人（男子6人、女子14人）

団 長 青 井 俊 憲（勝 山中学校 校長）

引率教師 伊 藤 宙 代（桑 原中学校 教諭）

〃 菅 野 圭 作（愛媛県立松山西中等教育学校 教諭）

松山市職員 松 崎 謙 二（観光・国際交流課）

活動内容：【フライブルク】

- ・エコステーション、ヴァルトハウスでの環境学習
- ・フライブルク大学見学、ドイツ語学校授業体験
- ・ホームステイ、ホストファミリーとの交流会 ほか

【ジュネーブほか】

- ・国際連合ヨーロッパ本部、国際赤十字博物館見学
- ・エメンタールでチーズ作り体験
- ・インターラーケンでハイキング体験、世界遺産の街ベルン見学 ほか

（4）報告会

日 時：8月19日 13:30～15:30

会 場：コムズ5階 大会議室

内 容：米独両班による報告

29年度チャレンジプロジェクト登録生徒42人が参加

（5）報告書の発行

報 告 書：A3・10頁 1,800部（市内中学校全クラスへ枚数を配布）

（6）29年度チャレンジプロジェクト

- ・市内全中学校への案内文書の発送やメールニュース・ホームページへの掲載等で広報し、4月23日に説明会を開催。広報まつやま等も活用し、登録生徒を募集。
- ・中学生に相応しい国際交流・体験活動を随時実施。26事業に延べ518人が参加。111人が30年度派遣への応募資格となる4ポイント以上を獲得した。

2. 姉妹・友好都市からの青少年受入交流

姉妹・友好都市からの青少年を受け入れ、日本文化の体験やホームステイ等、松山の青少年との交流機会を創出し、国際理解と友好親善を図った。

例年実施している韓国・平澤市の中学生受入れ交流事業については、相互交流となっている「まつやま中学生海外派遣事業」の韓国派遣休止にともない、29年度は実施なしとなった。

（1）フライブルク市青少年受入交流

フライブルク市のゲーテ・ギムナジウム（中高一貫校）の訪問団を受け入れ、日本文化体験や学校訪問等の交流事業を実施した。この訪問団は、まつやま中学生海外派遣・ドイツ班の中学生が、フライブルク市訪問の際パートナーとなり交流した生徒を中心に構成されており、ホームステイ受け入れなどを通して、さらなる交流を図った。

期 間：10月23日～10月29日 7日間

参 加 者：生徒17人・引率教諭3人

交流内容：防災センターで体験学習

浴衣着付け、書道体験、日本料理体験

(指導：松山市シルバー人材センター)

勝山中学校訪問 文化祭の見学や生徒との交流

しまなみ海道ツアー（来島海峡観潮船・サイクリング）

カメラファミリー（中学生派遣経験者の会）との交流会

ホームステイ ほか

3. 海外からの親善訪問団等受入

姉妹・友好都市からの訪問団を受け入れ、親睦を図ったほか、海外からの文化・スポーツ・教育関係者など、様々な個人・団体が来松した機会を捉え、市民との交流機会を創出し、国際理解の促進に努めた。

(1) 平澤市市議受入れ

平澤市議員であるパク・ファントウ氏と平澤文化院監事イ・ジェドク氏が「第23回日韓市民友好交流フォーラム in 松山」への参加に伴い、松山を訪問し松山市や外郭団体の文化振興に関する視察を行った際に松山市と連携し、通訳やアテンド等を行った。

・期 間：10月11日～12日

・内 容：松山市 文化・ことば課、松山市文化協会、松山市文化・スポーツ振興財団視察 ほか

(2) ジャズハーピスト 古佐小 基史さん

松山市出身でサクラメント市を拠点として活動する古佐小基史さんが公演のため帰松した機会に、生徒を対象とした交流事業を実施した。

・内 容：① 11月8日 松山市立さくら小学校
全校児童が参加 ハープ演奏・講話

② 11月9日 松山市立難波小学校
全校児童が参加 ハープ演奏・講話

③ 11月14日 松山市立興居島中学校
全校生徒が参加 ハープ演奏・講話

④ 11月16日 愛媛県立松山北高校中島分校
全校生徒が参加 ハープ演奏・講話

⑤ 11月17日 松山市立怒和小学校
全校児童が参加 ハープ演奏・講話

⑥ 12月11日 松山市立雄郡小学校
全校児童が参加 ハープ演奏・講話

(3) 愛媛マラソン平澤市選手団

第56回愛媛マラソンに参加のため、平澤市関係者とランナー5名の合計8名が来松。平澤港マラソンに松山市選手団が参加したことに伴う相互交流となっており、ボランティアガイドによる観光案内も実施した。

・期 間：2月10日～13日

・内 容：愛媛マラソンへの選手5人の参加

道後温泉別館飛鳥乃湯泉、松山城観光 ほか

4. 地球人まつり

通算21回目となる「地球人まつり in まつやま・えひめ」を、E P I Cとの共催により開催し、外国人市民が市民と一緒に自国を紹介するブースを出展することで、外国の歴史や文化に親しみながら市民とふれあう機会を提供し、身近な国際交流の促進を図った。

また、各ブースのボランティアスタッフとして幅広い年代層の市民が参画し、外国人市民との交流や相互理解を図る場を作り出すことができた。

- ・日 時：1月14日 13：00～17：00
- ・場 所：松山市総合コミュニティセンター 企画展示ホール1～3F
- ・出 展：世界各国ブース 18ブース
フードブース 12ブース
民族衣装試着コーナー
パフォーマンス出演 11グループ
- ・ボランティア数：外国人市民38人・市民ボランティア170人
(うち、チャレンジプロジェクト登録生徒41)
- ・来 場 者：約1,500人
- ・そ の 他：2階,3階に愛媛県国際交流協会が主催する県内国際交流団体の活動紹介ブース(20団体)が出展

5. フライブルク市寄贈ぶどう活用

フライブルク市から寄贈され、松山市野外活動センター内の「フライブルク友好ぶどう園」において、市が栽培しているぶどう(品種名：ソラリス)の収穫時期に合わせイベントを開催するとともに、今年度初めて、松山市内の団体(福祉事業所、NPO団体など)へぶどう果実を寄贈し、ジュースやジャムなどに加工して、活用してもらうとともに、フライブルク市との姉妹都市交流について、広く周知することができた。

○ぶどう活用イベント

日時：8月10日、参加者：中学生25人

内容：ドイツについてのレクチャーおよび収穫したブドウを使ったスイーツづくり

講師及び会場提供：河原パティシエ・医療・観光専門学校

○寄 贈 先 就労継続支援事業所、NPOなど4団体

- ・ジュース・ジャム・ジュレなどに加工
- ・調理イベントで使用

○製 造 品 ・ぶどう飴 600袋(10個入り)

※昨年度に搾汁した果汁を使用

II. 共生支援事業

外国人も「同じ地域で生活する住民である」ということを認識し、住民生活に必要な支援を行った。また、外国人の地域行事への参加を促し、地域への溶け込みを図るとともに、市民や地域の国際理解を深め、多文化共生を推進した。

1. 外国語としての日本語教室

外国人市民が日常の生活に必要なコミュニケーションを日本語で行えるよう、レベル別に分けて基礎講座を開催した。また、来日間もない外国人住民を対象とした「今すぐ日本語～くらしの情報広場～」も開催。授業を通じて、松山の生活に必要な情報も提供した。

講座名	曜日	時間	年間回数 (回)	登録者数(人)		
				前期	後期	
平日	初級Ⅰ	火曜	13:00～14:30	30	26	10
	初級Ⅱ	木曜	13:00～14:30	30	20	16
	初級Ⅲ	木曜	14:45～16:15	30	14	13
夕方	初級Ⅰ	火曜	18:30～20:00	30	17	25
	初級Ⅱ	火曜	18:30～20:00	30	45	31
週末	今すぐ日本語	原則土曜	13:30～15:30	20	21	34

○託児サポート：子どもを持つ外国人市民も受講できるよう託児サポートを実施。

・利用者：前期6人(子ども7人)、後期4人(子ども6人)

○「今すぐ日本語」では、外国人オタスケマン登録者にサポーターとして参加してもらい、生活情報提供等を行ったほか、フィールドワークも実施。

2. 留学生支援団体助成

外国人留学生を中心とした外国人市民の生活をサポートするため、生活必需品の提供活動を行う民間団体に対し、助成を行った。

団体名	事業内容	助成金額 (総事業費)
シリキリアサポートクラブ	市民に呼び掛け、まだ使える生活必需品や余剰品を集め、留学生に提供する活動を実施。年間で350回を超える収集や提供を行った。主な提供品は洗濯機や冷蔵庫・電子レンジなどの家電用品、自転車など。 主な経費：倉庫使用料、車借上げ料、ごみ処理費	300,000円 (691,787円)

3. 外国人のための無料行政書士相談

愛媛県行政書士会・松山支部との連携により、まつやま国際交流センター会議室を会場に毎月一回無料の行政書士相談を実施し、外国人市民の行政手続きや契約等に関する相談に応えた。

- ・開催日 : 10月～3月 (原則第2水曜日)
- ・時間 : 13:30～15:30の間 一人30分程度
- ・場所 : コムズ4階 国際交流会議室
- ・相談件数 : 9件
- ・主な相談内容 : 在留資格・ビジネス・家に関する事など

4. 国際交流サロン

外国人市民との交流の中で、市民が世界の様々な文化・生活習慣・価値観等を学び、国際交流へ参加するきっかけとして「国際交流サロン」を開催した。また今年度は、新玉児童館と共同で子ども対象サロンも実施した。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	4月16日	【ほほえみの国、タイ】 交換留学で、市内の学校に通う高校生が、タイの文化や学校生活について紹介。楽器の披露やダンスのワークショップも行われ、参加者との交流を深めた	24
2	6月17日	【日本語でめぐる8か国の旅】 8カ国 (アルゼンチン、イエメン、インド、セネガル、台湾、中国、ペルー、マレーシア) 出身のゲストによるミニブースを設置し、参加者はそれをめぐる形で話を聞いた。各国の文化に対する理解を深め、交流する機会となった	41
3	8月26日	【よくばり体験！世界のあそび】 《新玉児童館と共催》 4カ国 (アルゼンチン、インドネシア、中国、マレーシア) 出身のゲストによるミニブースを設置し、自国の遊びを紹介してもらった。新玉児童館で開催し、未就学児や小学生に海外について興味を持ってもらう機会となった	14
4	9月23日	【90分で Myanmar 旅行！？】 ミャンマー出身の講師が、自国の文化や歴史、名所、食生活などについて紹介。ダンスの披露では、参加者も体験するなどしてミャンマーの文化に触れる機会となった	19
5	11月24日	【TERANGA “Senegal in its hospitality”】 セネガル出身の留学生3名が自国の文化や観光地を紹介。セネガルのコーヒーやスナックで参加者をもてなすとともに、ゲームやダンス、会話を通じて交流を深めた	39

6	1月28日	【簡単おもてなし料理 ～食事制限のある外国人のおもてなし料理～】 《コムズフェスティバル事業として開催》 フレンドシップ・フォース愛媛から3名の講師を招き、ハラール（イスラム法で食べることが許されている）に対応した日本料理を紹介してもらい、参加者は外国人ゲストとともに調理。食事制限のある外国人をもてなす際の障壁をなくしてもらった	26
7	2月6日	【WATOTO チルドレンズ・クワイア コンサート】 《アジアキッズケアと共催》 ウガンダのワトト・チルドレンズ・クワイア（親をなくした子どもたちがアフリカの窮状を伝える大使として活動）がアジアツアーの一環としてコンサートを開催。子どもたちの力強い歌やダンスを楽しんだ	260
合 計			423

5. ジュニア国際交流「コスモリアン入門教室」

小・中学生を対象に、多文化共生意識の醸成やコミュニケーション能力の向上を目的とした講座等を開催し、心に国境をもたない“コスモリアン”の育成を図った。

(1) 国際理解教育の支援

学校からの依頼を受け、授業へ留学生らを派遣したほか、職員による職場体験を実施するなど、「国際理解教育」への支援を行った。

内 容	小 学 校	中 学 校	そ の 他
① 職場体験／出前講座	—	6回（41人）	—
② 学校等への外国人派遣	2回（8人）	7回（47人）	1回（1人）

※延べ人数、①は参加生徒数 ②は派遣した外国人人数

(2) コスモリアン教室

JICA四国・松山ユネスコ協会・愛媛県国際交流協会など他団体との連携により、ワークショップを開催したほか、外国人と直接交流できる機会を設け、青少年の異文化体験や国際理解に努めた。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	5月28日	<p>【「世界一大きな授業」で考える私たちにもできること】</p> <p>《松山ユネスコ協会との連携》</p> <p>‘非識字体験’を通して勉強することの大切さを体感し、世界の教育の現状と課題に対して、どんなことができるかをグループで話し合った。自分たちに何ができるかを考えるよいきっかけとなった</p>	31
2	6月24日	<p>【のぞいてみよう！国際協力の世界①】</p> <p>《JICA四国との連携》</p> <p>○元青年海外協力隊員体験談：タンザニア</p> <p>○ワークショップ：おいしいチョコレートの真実</p> <p>チョコレートの裏側に、たくさん子どもたちが働かなければならない厳しい現実があることを学び、自分たちに何ができるかを考えるよいきっかけとなった</p>	27
3	7月28日	<p>【南の国からアロ～ハ】</p> <p>《愛媛県国際交流協会との連携》</p> <p>ハワイからのインターン生を講師に招き、ハワイと愛媛県との繋がりや、ハワイの文化について学んだ。またワークショップではフラを体験し、動きの一つ一つに意味があることを知ることで、よりハワイを身近に感じる事ができた</p>	31
4	9月9日	<p>【世界遺産とわたしの町のたからもの】</p> <p>《松山ユネスコ協会との連携》</p> <p>世界遺産をカルタやビンゴゲームで楽しく知るとともに、その意義を学んだ。また、自分たちに身近な宝物についても考えた</p>	21
5	10月7日	<p>【英和对訳「坊ちゃん」朗読会】</p> <p>漱石朗読の会@松山が毎月開催している朗読会に参加し、日本語だけでなく英語版「坊ちゃん」の朗読にもチャレンジ。両方の言語で作品の世界を堪能したほか、いろいろな世代の参加者と交流した</p>	10
6	11月4日	<p>【世界で暮らす日本人】</p> <p>松山出身でサクラメントを拠点に活動するジャズハーピスト・古佐小基史さんをゲストに、ハーブの鑑賞やご自身の体験談を聞いたほか、これから海外でホームステイなどを経験しようとする人へのアドバイスもいただいた</p>	30
7	11月25日	<p>【体感！韓国・ピョンテク】</p> <p>韓国の平澤市から来ている留学生を講師に招き、派遣先の一つである韓国や平澤について学んだほか、韓国のお菓子作りにも挑戦し、留学生との交流を楽しんだ</p>	25

8	2月 3日	【ウェルカム トウ E P I C】 ≪愛媛県国際交流協会との連携≫ 愛媛県国際交流センターを訪問し、職員から愛媛に住む外国人の概況や抱える問題などについて学んだほか、愛媛と繋がりのあるハワイやスリランカとの交流についても知るよいきっかけとなった	25
9	3月11日	【のぞいてみよう！国際協力の世界②】 ≪JICA四国との連携≫ ○元青年海外協力隊員体験談：カメルーン ○ワークショップ：難民について考えよう！ 「難民ってどんな人のこと？」「もし、自分が難民になったら何を持っていく？」以外にも知らない難民について学び、世界で起こっていることを身近に感じるきっかけとなった	25
合 計			225

(3) ESDコーディネーター派遣

ESD（持続可能な開発のための教育）の専門家であるNPOを学校へ派遣し、頭で理解するだけでなく実際に行動へ移す国際理解教育を支援した。

	学 校	内 容
1	新玉小学校 3～6年生 345人	①3年生 松山在住のモザンビーク人との交流を通して、衣食住の生活文化の違いについて学んだほか、プログラム「ちがう国でも同じこと」を実施 ②4年生 モザンビークのSDGダンスを練習し撮影した。映像を現地の子どもたちに送ることで交流を行った ③5年生 これまでのモザンビークについての学習で、印象に残っていることを発表。現状の確認を行ったうえで、自分達がどのような活動をできるかを話し合った ④6年生 ワorkshop「ハンガーバンケット」を通して世界の格差を疑似体験。愛媛大学教育学部の学生とも連携して授業を実施した
2	雄郡小学校 6年生 62人	消費者教育に取り組むNPOと連携し、世界の現状を理解したうえで、自分達消費者の選択が生産地の人々の暮らしや地球環境問題につながっていることを学習し、自分の消費行動を見直すきっかけとなった
3	さくら小学校 6年生 131名	「もし、世界が100人の村だったら」ワークショップを実施したほか、NGOやJICAが行っている国際協力活動について学習したほか、自分たちにもできることについて子どもたちが意見を出し合った
4	宮前小学校 6年生 80人	世界の貧困や環境の問題について、具体的に学習。また、モザンビークの同世代の子どもたちに実施したQ&Aの結果について共有し、自分たちの生活や考え方と同じこと、違うことについて考えた

5	生石小学校 6年生 143人	「ちがう国でも同じこと」をテーマにモザンビーク、ネパール、日本の暮らしを比較しながら理解を深めた。また、ネパール人ゲストとの授業では、現地の教育、学校の様子、子どもたちの遊びなどを、具体的に紹介してもらい学習した
6	清水小学校 6年生 77人	「ちがう国でも同じこと」をテーマに、ネパールの言語、文化、楽器、遊びについて学習・体験を行った。また、モザンビークの衣食住についての紹介も行い、日本との違いや同じことについて確認し、自分たちにできることについて話し合った
7	愛媛県総合 教育センター 小学生・2名 中学生・9名	児童とその保護者を対象に異文化体験を通して主体性やコミュニケーション力を伸ばすことを目的に授業を実施。 世界の現状やモザンビークの現状について紹介した後、実際の音楽の演奏、衣装の試着、食べ物の試食などを行った

(4) 外国語（英語）de おしゃべりジュニア編

中学生とネイティブスピーカーがグループになり、遊びやゲームを英語だけでやり取りすることで、楽しみながらコミュニケーション能力の向上を図った。

月 日	内 容	参加者数（人）
6月 4日	キーワード学習、クイズほか	中学生 26 外国人市民 6
9月 24日	ジャンケンゲーム、伝言ゲームなど	中学生 26 外国人市民 6
12月 3日	クイズ、イラストゲームなど	中学生 28 外国人市民 6
3月 4日	レストランのメニュー作り	中学生 31 外国人市民 6
合 計		中学生 111 外国人市民 24

6. 地域交流サポート

地域や団体の協力を得て、お祭り等の地域行事へ外国人市民の参加を促し、地域住民との交流の場をコーディネートすることにより、外国人市民の地域社会への受け込みと多文化共生を図った。

(1) 地域や団体の行事への参加

	月 日	内 容	参加者数（人）
1	5月10日	【二之丸薪能】 松山市文化協会の招待により、外国人市民が伝統文化を鑑賞	9
2	5月13日 ～14日	【二之丸大茶会】 愛媛県茶道連盟松山支部の招待により、外国人市民が伝統文化を体験	16

3	9月14日	【松山城薪能】 松山城薪能実行委員会の招待により、外国人市民が伝統文化を観賞	8
4	10月6日	【銀天街神輿パレード】 銀天街第一商店街振興組合が運行する神輿パレードに外国人市民が参加し、日本の伝統行事を通して、地域住民と交流	4
合 計			37

※ その他、各種団体の協力や依頼により、様々なイベントへの招待や、参加呼びかけ、ボランティア活動・祭りなど地域行事への参加もあり。

Ⅲ. 基盤整備事業

外国人市民に対する情報発信等により、その生活をサポートする。また、一緒にサポートしてもらえる人材の育成や団体の活動の活性化を図ることで、“人・物・情報をつなぐネットワークづくり”を行い、協会が地域の国際交流の“拠り所”となるよう努めた。

1. 国際交流市民ボランティア入門講座

市民を対象に、地域の国際化の現状を理解するための入門講座と、地域で活動する国際交流団体によるガイダンスの場を設けることで市民とのマッチングを図った。また、中学生を対象に「ジュニアボランティア入門講座」を開催し、幅広く人材育成に努めた。

○入門講座

- ・日 時：2月25日
- ・受講者数：36人
- ・内 容：「はじめの第一歩！国際交流ボランティアって何だろう」

NPOサポートセンタースタッフによる「ボランティアとは？」「ボランティア活動の際に心がけること」などについての講話に引き続き、参加者同士の情報交換

「国際交流団体紹介」

市内で活動する国際交流14団体による活動紹介の後、個別に質問等のできる時間を設け、マッチングを図った

○ジュニアボランティア入門講座

- ・日 時：10月15日
- ・受講者数：中学生14人
- ・内 容：アジア・アフリカの民間支援団体「アジアキッズケア」において外国人市民とともに、バングラデシュへの支援物資の荷づくり作業等の体験

2. 交流ボランティアのための語学講座

地域での交流やボランティア活動に市民の“外国語能力”を活かせるよう、語学やコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催した。

また、これらの受講者を含めてボランティアガイドに登録し、活動してもらうことで、市民参加の拡大に努めた。

(1) ボランティア語学講座

観光・文化施設の案内など、ボランティア活動に必要かつ実践的な語学の習得を図った。

講座名		前期（４～９月）	後期（１０～３月）
ハングル	上級	１３回・登録者１５人	１３回・登録者１１人
中国語	上級	１３回・登録者１４人	１３回・登録者 ８人
英語	平日	１５回・登録者６０人	１５回・登録者５９人
	土曜集中	５回・登録者３０人	５回・登録者２２人

- ・英語集中講座は、前期「坂の上の雲ミュージアム」・後期「子規堂」が学習対象。
- ・各講座とも、観光施設等において実地研修を行うフィールドワークを実施。その際外国人市民をゲストに招き、実践的な活動を行った。

(2) ボランティアガイド活動

登録者による観光ガイドやイベント通訳等の支援を行った。

《ボランティアガイド登録：１２４人》

	月 日	内 容	種別	派遣人数 (人)
1	4月14日	オーストラリア高校生ホッケーチーム松山城案内	ガイド	3
2	7月 7日	サクラメント・マクラッチー高校生徒松山城案内	ガイド	2
3	7月 7日	サクラメント・ローズモンド高校生徒松山城案内	ガイド	2
4	7月14日	アメリカ人高校生（ロータリークラブのプログラムに参加中）の松山城案内	ガイド	1
5	10月24日	フライブルク・ゲーテギムナジウム生徒の松山城案内	ガイド	3
6	10月26日	フライブルク・ゲーテギムナジウム生徒の日本文化体験	通訳	2
7	10月27日	フライブルク・ゲーテギムナジウム生徒の学校訪問通訳	通訳	3
8	2月 3日	愛媛マラソン 平澤市からの参加者の道後温泉・坊ちゃん列車の案内	ガイド	2
9	2月 4日	愛媛マラソン 平澤市からの参加者のサポート	通訳	3
10	2月 6日	愛媛マラソン 平澤市からの参加者の松山城案内	ガイド	2
合 計				23

3. ホームステイ・ホームビジット振興

日本の文化や家庭生活の体験を希望する外国人に対し、ホストファミリーをマッチングし、ホームステイ・ホームビジットを行うことにより、実際のふれあいを通して異文化交流、相互理解を図った。

《ホストファミリーバンク登録：176家庭》

	期 間	受入人数 (人)	受入 家庭	内 容
1	5月8日～ 6月3日	1	1	愛大附属高校のタイ人留学生
2	5月19日～ 5月21日	16	14	愛媛大学のアメリカ人短期留学生
3	7月6日～ 7月11日	3	2	アメリカ人高校生親子 (サクラメント・ローズモンド高校)
4	9月8日～ 9月10日	7	7	愛媛大学のアメリカ人短期留学生
5	1月13日～ 1月14日	20	8	アメリカ・カナダの大学生 (JICE 関西よりの依頼)
6	2月6日～ 2月7日	28	9	ウガンダ・WATOTO クワイアメン バー
	合 計	75	41	

○My Matsuyama Family

留学生に松山を“第二の故郷”として親しんでもらえるよう、松山での家族となってもらえる家庭と引き合わせ、4か月を目安として、ホームステイに限らない自由な交流を行ってもらう「My Matsuyama Family」を実施した。

- ・交流実績：春季（6月～9月）：6カ国21人の留学生が21家庭と交流
秋季（11月～2月）11カ国49人の留学生が32家庭と交流
- ・登録家庭：215家庭

4. 生活サポートボランティア派遣

外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じて登録制の生活サポートボランティア“オタスケマン”に同行してもらい、サポートを行った。

《オタスケマン登録者数：医療142人・日常340人》

(1) 医療同行サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	4月 3日	透析の付き添い	1
2	6月16日	産婦人科への付き添い	1
3	6月30日	産婦人科への付き添い	1
4	7月13日	産婦人科への付き添い	1
5	8月14日	産婦人科への付き添い	1

6	8月16日	産婦人科への付き添い	1
7	9月11日	産婦人科への付き添い	1
8	11月24日	産婦人科への付き添い	1
9	11月29日	産婦人科への付き添い	1
10	12月21日	産婦人科への付き添い	1

(2) 日常生活サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	4月 5日	小学校で保護者への説明通訳	1
2	4月 7日	市役所にて保育園の説明通訳	1
3	4月20日	小学校にて懇談会の通訳	1
4	4月21日	市役所での納税関係手続	1
5	5月～	小学生男児の宿題サポート	4
6	5月20日～	「今すぐ日本語」サポート及び情報提供 (前期・全10回)	7
7	7月 1日	保育園のイベント説明通訳及び 小学校の懇談通訳	1
8	7月～	中学生の受験勉強サポート	1
9	7月21日	運転免許切り替えサポート	1
10	10月7日～	「今すぐ日本語」サポート及び情報提供 (後期・全10回)	6
11	3月20日	手続きのために電話をかける際のサポート	1

5. 民間国際交流団体等助成・支援

(1) 姉妹・友好都市との交流助成

姉妹・友好都市との交流促進を目的として民間団体等が実施する訪問・受入事業に対し、助成金を交付し、市民主体の友好親善の促進を図った。

	月 日	事 業 内 容	助成金額 (総事業費)
1	5月24日～ 5月29日	<p>交付先：サクラメント松山姉妹都市協会 事業名：高校間姉妹都市提携調印式及び小学校間姉妹都市提携記念訪問事業 内 容：これまで交流を続けていたCKマクラッチー高校と新田青雲中等教育学校の姉妹都市提携のため現地を訪問。また、平成28年10月に和気小学校と姉妹提携したオーチャード小学校を訪れ交流を深めた 主な経費：渡航費など</p>	200,000円 (1,619,416円)
2	7月6日～ 7月11日	<p>交付先：新田青雲中等教育学校 事業名：CKマクラッチー高校との交流事業 内 容：姉妹提携しているCKマクラッチー校の生徒を受け入れ、学校での交流活動を実施するとともに、ホームステイを通して家族とも親交を深めた 主な経費：移動交通費、文化体験消耗品費など</p>	8,614円 (17,229円)
3	9月18日～ 9月24日	<p>交付先：愛媛大学附属高等学校 事業名：JFK高との交流事業 内 容：生徒6人、引率者2人がサクラメント市を訪問、ジョン・F・ケネディー校生徒と授業参観や日本語授業への参加を通して交流したほか、滞在中はホームステイを体験し、多様な価値観を理解し対話する力が大切であることを学んだ 主な経費：渡航費など</p>	200,000円 (1,906,822円)
4	9月23日～ 9月25日	<p>交付先：平澤港マラソン選手団 事業名：2017平澤港マラソン大会への参加 内 容：平澤市からの招待を受け、選手・引率計3名が同市を訪問しマラソンに参加。また、多くの市民やマラソン関係者と交流し、今後の交流についての意見交換も行った 主な経費：渡航費</p>	80,700円 (161,400円)
5	10月9日～ 10月11日	<p>交付先：愛媛地球市民の会 事業名：第23回日韓市民友好交流フォーラム 内 容：フォーラムの代表を始め23名が来松。今回のテーマである「えひめ国体観覧・しまなみ観光資源の有効活用」をテーマに視察、交流を実施。相互理解と親睦を図った 主な経費：宿泊費、移動交通費、通訳謝礼など</p>	200,000円 (456,654円)

6	11月8日～ 11月13日	交付先：愛媛県立松山東高等学校 事業名：松山東高校SGH事業 海外フィールドワーク（ドイツ・フライブルク市） 内 容：プログラムに参加の生徒ら7人が、フライブルク市を訪問。環境先進地と言われる同市の環境対策について、行政・学校・市民生活等広い分野の視察・学習を実施 主な経費：渡航費	200,000円 (2,265,720円)
---	------------------	--	--------------------------

(2) 後援

	月 日	事 業 名	団 体 名
1	10月14日	第34回マドンナ・レシテーション・コンテスト～中学生英語暗誦大会	松山東雲中学・高等学校
2	10月22日	日中書家文化交流イベント	愛媛女流書家連盟

6. 情報発信事業

(1) 情報冊子等による情報提供

生活ガイドブック、防災マニュアル等により、生活情報を外国人市民へ提供するとともに、市民に対しても、姉妹・友好都市紹介等のパンフレットを提供し、国際理解の促進を図った。

また、英語ボランティアガイドクラスが編集した英文情報誌を月に1回発行し、各種情報を提供した。

○月刊英文情報誌「What's Going On?」

毎月約650部発行（公共施設・駅・空港・大学など42か所に設置）

(2) ホームページ・メールニュース・フェイスブックによる情報提供

イベント、講座等の情報のほか、外国人市民向けの生活情報も適宜、掲載・発信し、情報内容の充実に努めた。

○メールニュース

週1回定期発信、登録数：市民 1,884件・外国人市民 849件

(3) まつやま国際交流センター 情報コーナーの整備充実

国内外の定期刊行物や諸外国に関する図書、国際理解啓発DVD等を収集し市民の諸外国の情勢や生活文化への理解と、外国人市民の日本社会や文化等に対する理解促進を図った。

○図書貸出：35件

(4) ラジオ・テレビによる広報

松山市のラジオ・テレビ広報番組を通して、協会の事業の広報を行い、市民への周知を図った。

	月 日	告 知 内 容	番 組 名
1	5月20日	中学生チャレンジプロジェクト登録案内、国際交流サロン「ハワイ」の案内	ラジオ広報番組「みんなの松山」

2	10月21日	MyMatsuyamaFamily、外国人オタスケマンの案内	ラジオ広報番組「みんなの松山」
3	1月6日	地球人まつり2018の案内	ラジオ広報番組「みんなの松山」
4	1月8日	地球人まつり2018の案内	愛媛CATV
4	3月10日	ボランティア語学講座案内ほか	ラジオ広報番組「みんなの松山」

IV. もてなしの風土醸成事業

外国人観光客誘致による交流人口の拡大を支援し、外国人が訪れやすい“やさしい風土づくり”の促進に努めた。

1. 日本体験集中プログラム

愛媛県国際交流協会が実施する日本語教室と、本協会が実施する日本文化体験、市民との交流等、県市協会の持つノウハウを生かしたプログラムを提供することにより、姉妹友好都市からの誘客を図り、交流人口拡大に向けた一助とした。

- ・ 期 間：3月5日～23日
- ・ 受入人数：フライブルク市で日本語学習中の学生2人
- ・ 内 容：E P I C「日本語集中講座」受講（10日間）
松山フライブルク会の協力による料理体験、華道見学 など

2. レンタサイクル

海外からの誘客に向けた受入環境の整備の一助として、短期滞在外国人向けのレンタサイクルを設置し、無償で貸し出した。

- ・ 設置台数 8台
- ・ 料 金 無料
- ・ 貸出回数 42回

V. 評議員会・理事会の実績等

平成29年度における評議員会・理事会の開催状況等

1. 評議員会の開催状況

○第1回評議員会

開催日時：平成29年6月9日

開催場所：松山市男女共同参画推進センター4階国際交流会議室

決議事項：平成28年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

公益財団法人松山国際交流協会役員等の任期満了に伴う理事、監事及び評議員の選任

出席者：評議員3人（欠席1人）、理事2人、監事1人（欠席1人）

2. 理事会の開催状況

○第1回理事会

開催日時：平成29年5月19日

開催場所：松山市男女共同参画推進センター4階国際交流会議室

決議事項：平成28年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

公益財団法人松山国際交流協会役員等の任期満了に伴う選任にかかる概要

平成29年度公益財団法人松山国際交流協会定時評議員会の招集

報告事項：職務執行の状況

出席者：理事6人（欠席1人）、監事1人（欠席1人）

○第2回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会代表理事及び業務執行理事の選定

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示及び、監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た6月9日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第3回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会給与規程の改正

公益財団法人松山国際交流協会就業規則の改正

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示及び、監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た12月14日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第4回理事会

開催日時：平成30年3月22日

開催場所：松山市男女共同参画推進センター4階国際交流会議室

決議事項：平成30年度公益財団法人松山国際交流協会事業計画及び収支予算等の承認

報告事項：職務執行の状況

出席者：理事7人、監事2人

3. 関連当事者との取引の内容

役職及び氏名	内 容	金 額
評議員 ルース・バージン	5月13、14日に開催した「まつやま中学生海外派遣事業」派遣生選考のための面接審査員	24,000円